

昨夜は我が家のお勝手には、隣の親父さん、商店会の旦那さん達、奥さん達、元公務員、新旧の政財界14名が集まり、さすがに広い我が家のお勝手は身動きできない混み合いです。酒は「山田錦勝山、景虎、加茂の鶴、さては衆議院と3升4合。焼酎は沖縄御殿にブラックストーン、濁酒一升」すべてもらいものです。肴はイワシの刺身、明太子、玉ねぎのかき揚げ、とんかつ、白菜の漬物、餃子とプレミアムモルツ20本と、テーブルは隙間のない程のごちそうとなりました。

我が家のルールはプラスチック食器を一切使わないで、陶磁器の皿、鉢に盛り込み、ガラスのグラスとする。残った肴類、ビン、缶は必ず持ち帰る事。会費は原則として一人500円、帰りのタクシー代行料は全員のカンパで安全帰宅とすることになっています。ビール、酒3升は飲み干します。気がねしない人達、相性が良い人達だからかも知れません。ここに来られるメンバー多士済々でありますので、悩み、頼み事、病気の事も大体解決できます。時には大手病院長、医師も参加するのでなおさらであります。来る人は拒まずでありますので、木更津、富津、小糸、貞元からと広く女性4~5名、男7~8名が常連で平均年齢70歳であります。

私は「老人の酒は酔って昔を語れ」であります、話題は豊富で若々しく大きな笑い声が絶えずにぎやかであります。

帰りがけ隣の親父さんが「みんな本音は淋しいから楽しみにしてきますよね」と述懐してくれた。その通りだと思う。

一方「坂の会」と言う会は、昭和63年からなのでもう26年目、会員20名で出発しました。4人亡くなったので現在16名、千円会費、毎月定例会、昔は市内外の神社仏閣等、史跡巡りやコンサート、小旅行が多かったが最近はホテルにて誕生祝と兼ね11時から3時間位の時間をかけて昼食会が続いております。この仲間達はアマチュア芸術文化人が多いが、この頃の話は老人病と孫の話が中心であります。

26年間一回も休むことなく、ほとんど全員出席と言う事は不思議な会であり、奇跡的だと我ながら驚いております。会う事多ければ良き友となり、会う事なければ他人となるからであります。

昔から「遠い親戚より近くの他人」と言われますが、現代人にとって必要不可欠なものであります。老後の楽しみに当てにしていた年金は、だんだん縮小され介護保険料、医療費の負担増は意外と大きな負担となって今までの少しゆとりがあった生活は大分厳しい様相となってきました。

私自身居酒屋へ払う金も半減しております。良く「昔は良かった」と言われます。なぜ？昔は今より少し貧しかった。もう少し欲しいものがあつたが我慢した。

親子三代、今より狭い家で少し不自由暮らしの中で良く親父に叱られたが、お袋がそっと慰めてくれ、祖父母が諭してくれた。家族に太い絆があつた。今は自由な幸せを求めて、核家族になってしまいました。やがていつか年老いてから核家族が不幸だったこと、子のいない老後がどんなに淋しいものかを悟り、親子三代、四代、孫、子団欒の方法を日本人は必ず発見するでしょうが、しばらく時間がかかるでしょう。

喫茶店やレストランへ集まるより、面倒でも各家を持ちまわりにすれば、本当の人間性が見えて親近感が深くなります。自分の恥部を見せたくないと言ううちは絆が作れないからです。若者達が都会へ流出した後の地方都市では、ご近所にいつも出入りする人をたくさん作って、病気、災害、孤立から安心・安全なまちを作らなければなりません。まずは会議所の会員宅から始めてみませんか？